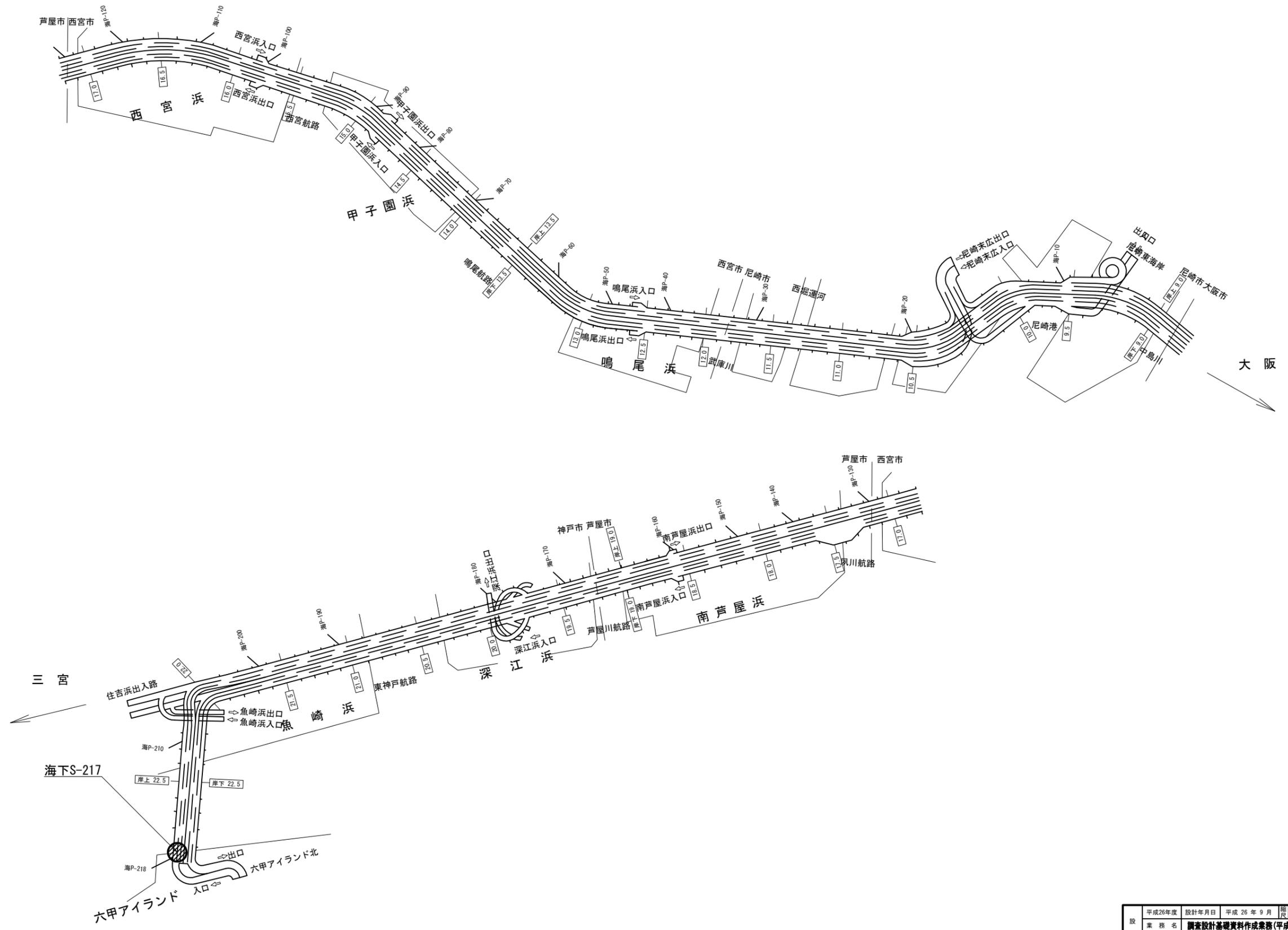


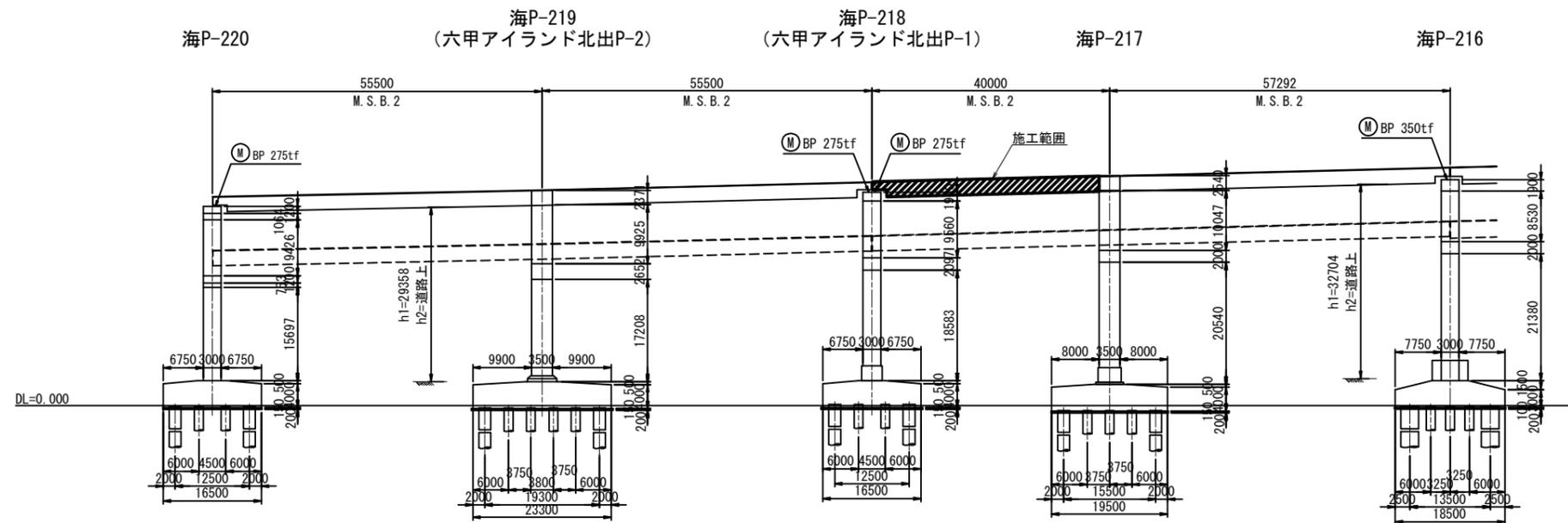
施工位置図(その1)



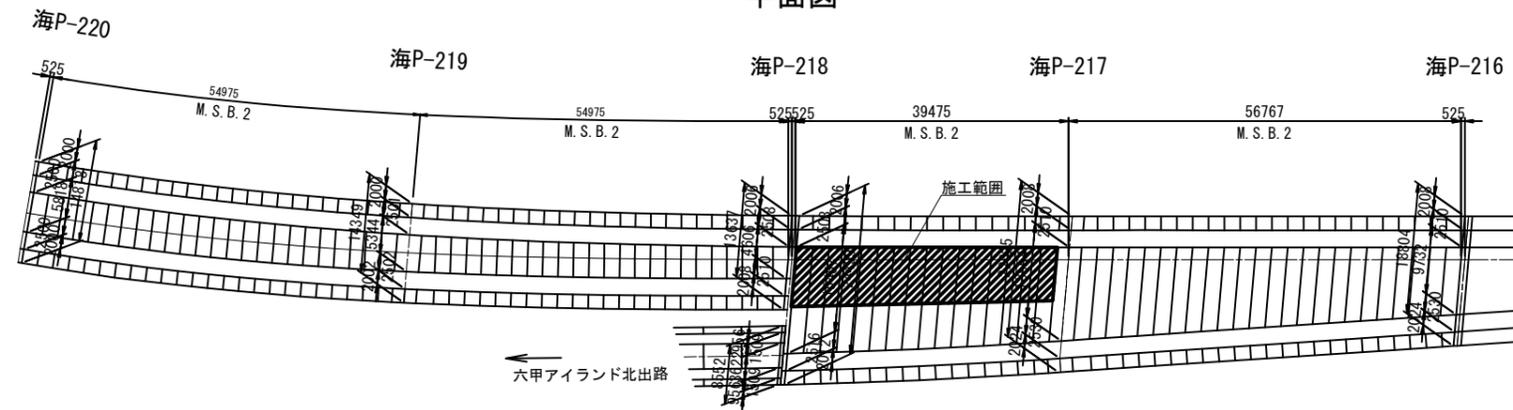
設	平成26年度	設計年月日	平成26年9月	縮尺	図示	※
業	務	名	調査設計基礎資料作成業務(平成26年度)のうち土木			
路	線	名	兵庫県道高速湾岸線			
図	名	施工位置図(その1)				
設	計	請	負			
担	当	部	署			
			阪神高速道路株式会社 技術部 大規模修繕・更新技術推進室			

施工位置図(その2) S=1:500

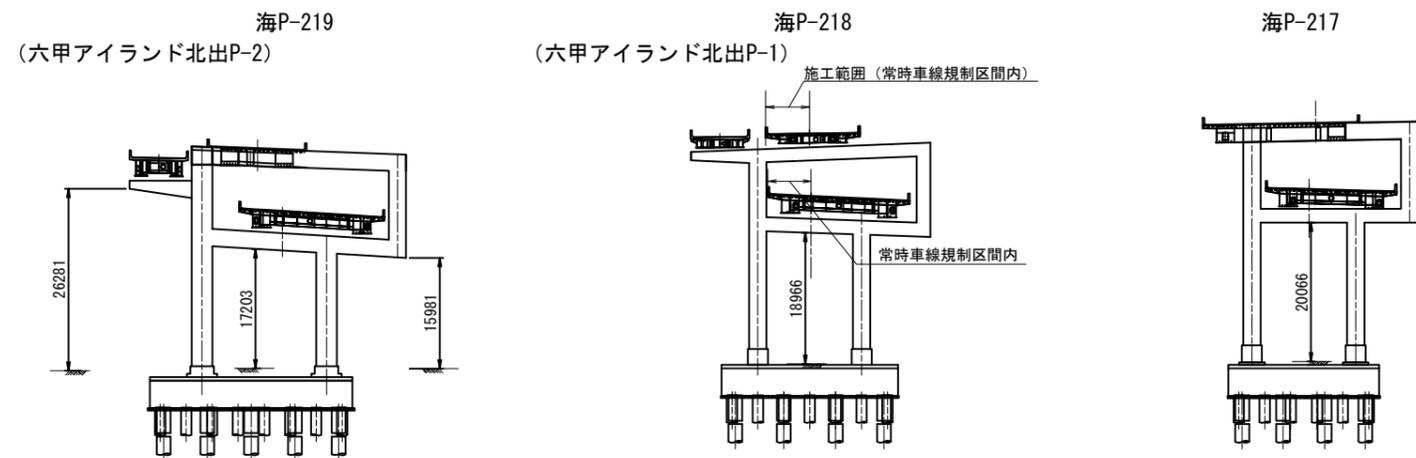
側面図



平面図



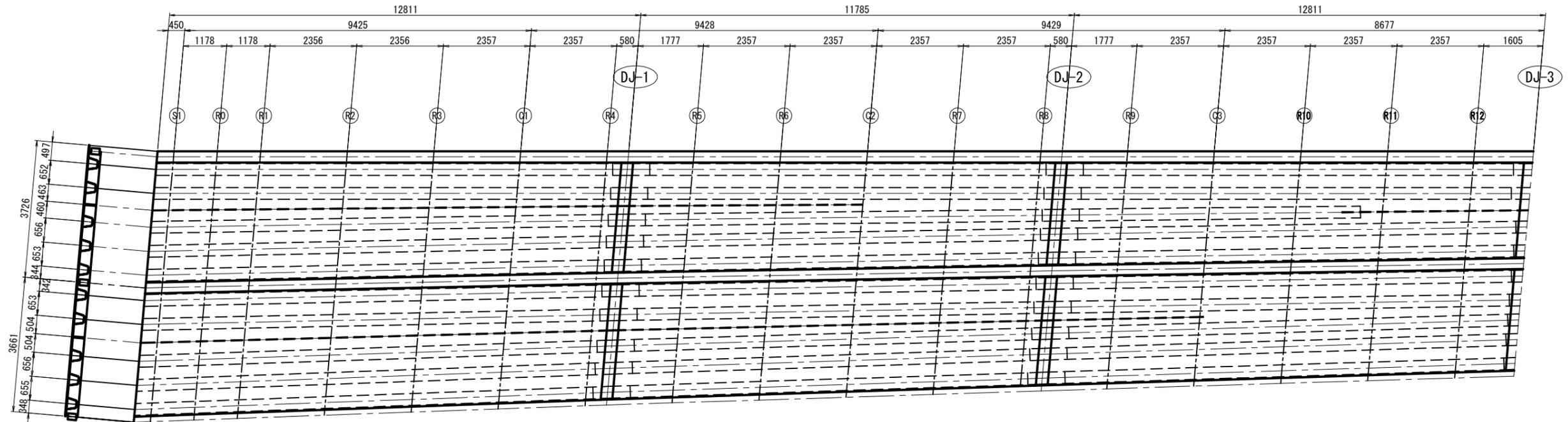
断面図



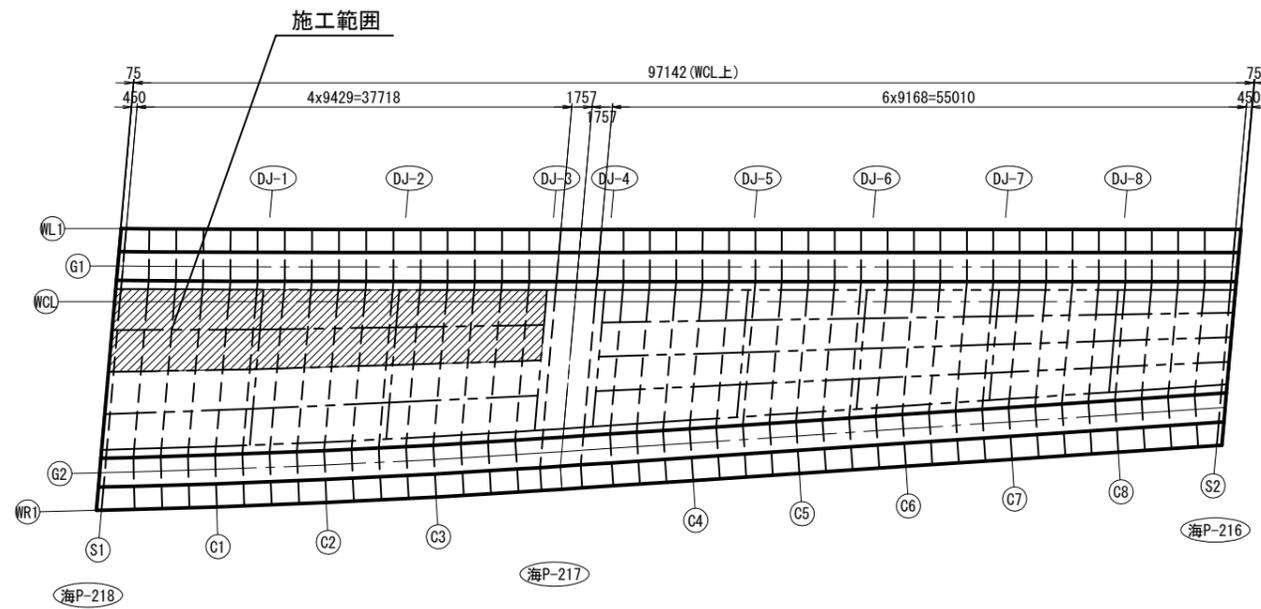
設	平成26年度	設計年月日	平成26年9月	縮尺	図示	※
業	務	名	調査設計基礎資料作成業務(平成26年度)のうち土木			
路	線	名	兵庫県道高速湾岸線			
図	名	施工位置図(その2)				
設	計	請	阪神高速技研株式会社			
担	当	部	阪神高速道路株式会社 技術部 大規模修繕・更新技術推進室			

海S-217 鋼床版下面補強工詳細図(その1)

平面図 S=1:60



配置図 S=1:300

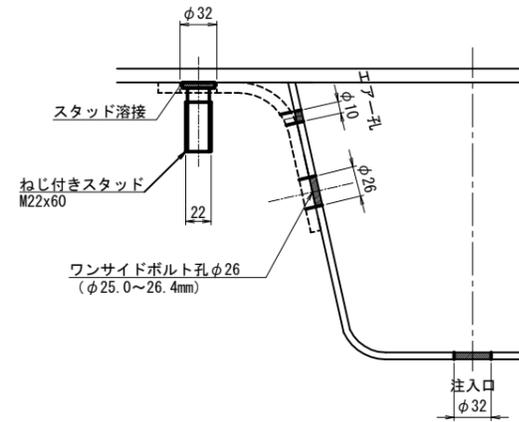
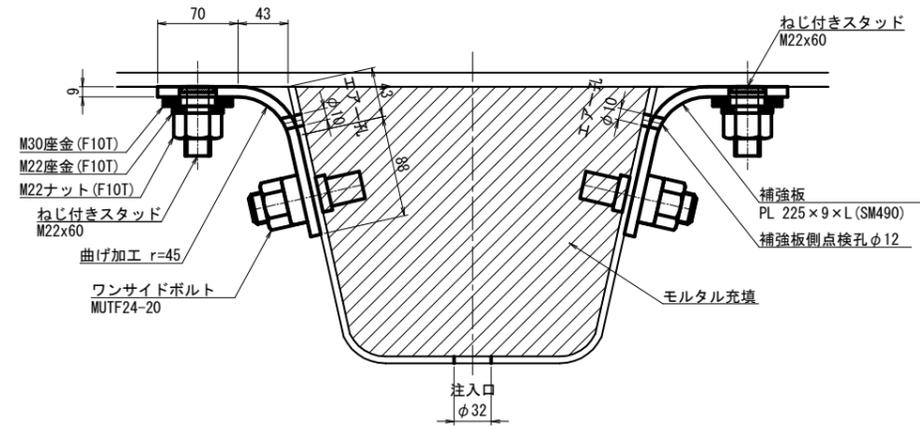


設	平成26年度	設計年月日	平成26年9月	縮尺	図示	※
業	務	名	調査設計基礎資料作成業務(平成26年度)のうち土木			
計	路	線	兵庫県道高速湾岸線			
図	名	海S-217 鋼床版下面補強工詳細図(その1)				
設	計	請	阪神高速技研株式会社			
担	当	部	阪神高速道路株式会社 技術部 大規模修繕・更新技術推進室			

海S-217 鋼床版下面補強工詳細図(その2)

標準断面図 S=1:3

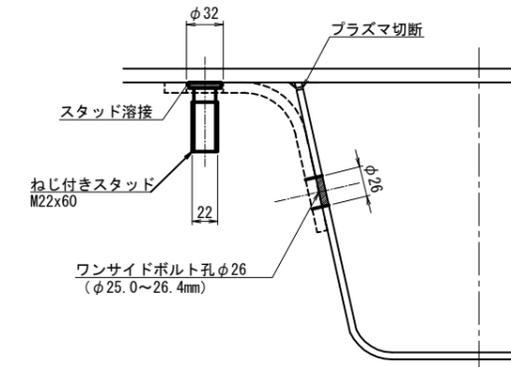
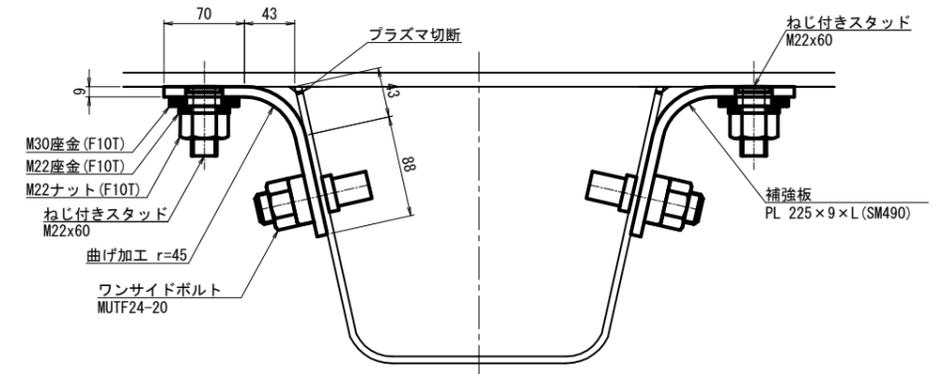
モルタル充填工法例



設計ボルト軸力			
部 材		設計ボルト軸力	備 考 欄
ねじ付きスタッド	M22	111 kN	
高力ボルト	M22 (F10T)	205 kN	参考値

トルク法による締め付けの場合、上記軸力の10%増しを標準とする。

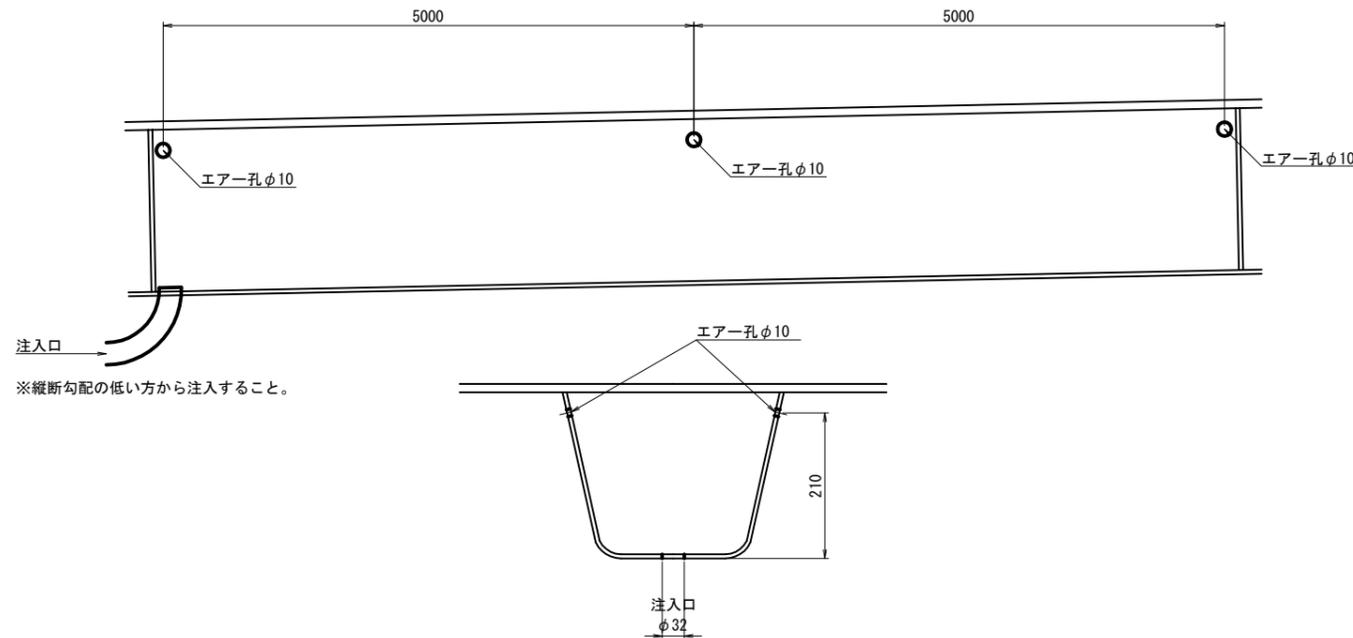
溶接ビート切断工法例



設計ボルト軸力			
部 材		設計ボルト軸力	備 考 欄
ねじ付きスタッド	M22	111 kN	
高力ボルト	M22 (F10T)	205 kN	参考値

トルク法による締め付けの場合、上記軸力の10%増しを標準とする。

モルタル充填要領図



注)
1. あて板と鋼床版との隙間には樹脂等を注入し防錆処理を行う。

設 計	平成26年度	設計年月日	平成26年9月	縮尺	1/3	表示	※
業 務 名	調査設計基礎資料作成業務(平成26年度)のうち土木						
路 線 名	兵庫県道高速湾岸線						
図 名	海S-217 鋼床版下面補強工詳細図(その2)						
設 計 請 負	阪神高速技研株式会社						
担 当 部 署	阪神高速道路株式会社 技術部 大規模修繕・更新技術推進室						

海S-217 鋼床版下面補強工詳細図(その3)

充填モルタルの品質試験項目および試験方法

試験項目	試験方法	品質管理値
試験環境	(1)温度計を用いて、外気、材料、練混ぜ水、練上げ後のモルタルの温度を測定する。	—
コンシステンシー (テーブルフロー値)	(1)JIS R 5201「セメントの物理試験方法」に準ずるコーンを用いて練上り直後に引抜き時(15回落下動は行わない)のフロー値を測定する。	130~170
膨張収縮率	(1)JHS-312「無収縮モルタル品質管理方法」に準拠して材齢1日、3日、7日の膨張収縮率を測定する。	材齢7日 ≥0.0%
単位容積質量	(1)JSCE-F505「試験室におけるモルタルの作り方」に準拠して練上り直後の単位容積質量を測定する。	1.25~1.35 kg/L
ブリーディング率	(1)JIS A 1123「コンクリートのブリーディング試験方法」に準拠して練上りから3時間後のブリーディング率を測定する。	0.0%
圧縮強度	(1)JIS A 1108「コンクリートの圧縮強度試験方法」に準拠して材齢3, 7, 28日の圧縮強度を測定する。 (2)供試体寸法はφ5×10cmとする。 (3)養生条件は標準養生とする。	材齢28日 ≥5N/mm ²
終局ひずみ	(1)JIS A 1149「コンクリートの静弾性係数試験方法」に準拠して材齢28日の終局ひずみを測定する。 (2)供試体寸法はφ10×20cmとする。 (3)養生条件は標準養生とする。	3000μ以上

ねじ付きスタッドおよび溶接部の機械的性質および基本特性

項目	ねじ付きスタッドおよび溶接部に求める機械的性質と基本特性
外観形状	余盛欠損、アンダカットの有無、スタッドの鉛直度を確認する。以下は外観検査時の判定基準例を示す。 (1)溶接部の余盛は高さ1.0mm、幅0.5mm以上とし、全周にわたり包囲していること。 (2)スタッド軸部および溶接部に有害なアンダカットがあってはならない。 (3)鉛直度は±2°以内であること。
引張強度	残留ひずみの有無、機械的性質(0.2%耐力、最大引張強さ、伸び)、破断位置を確認する。以下はスタッドの機械的性質例を示す。 (1)0.2%耐力(降伏点): 460N/mm ² 以上 (2)最大引張強さ: 570N/mm ² 以上 (3)伸び: 20%以上
曲げ強度	JIS Z 3145(頭付きスタッドの曲げ試験方法)に準じて、スタッドを30°まで打撃によって曲げ、溶接部の曲げ延性を確認する。
断面マクロ観察	溶融金属部の有害な割れ等の有無を確認する。
硬度測定	溶融金属部周辺の硬度測定を行い、金属組織毎の最高硬さについて確認する。

設	平成26年度	設計年月日	平成26年9月	縮尺	図示	表示	※
業	務	名	調査設計基礎資料作成業務(平成26年度)のうち土木				
路	線	名	兵庫県道高速湾岸線				
図	名	海S-217 鋼床版下面補強工詳細図(その3)					
設	計	請	負 阪神高速技研株式会社				
担	当	部	署 阪神高速道路株式会社 技術部 大規模修繕・更新技術推進室				

